




●非財務情報に「信頼性」を。インターテックの第三者検証・妥当性確認サービス

インターテックは、組織や製品の環境影響データ (温室効果ガス排出量、カーボンフットプリントなど) や非財務情報の正確性を、国際規格や国内制度に準拠して、公正に検証し、信頼性を保証します。
これらの検証は、年次報告書、各種制度対応、投資家への報告、排出削減実績の公表など、利害関係者との信頼性の高いコミュニケーションを実現するために役立ちます。

サービス名	目的	準拠規格・制度（例）
GHG排出量検証・妥当性確認（Scope1, 2, 3）	組織やプロジェクトのGHG排出量の算定・報告内容を第三者として検証・確認	ISO 14064シリーズ GHGプロトコル
CFP検証・妥当性確認（製品のカーボンフットプリント）	製品のCFP算定・報告内容を第三者として検証・確認	ISO 14067
LCA（ライフサイクルアセスメント）	製品・サービスのライフサイクル全体における環境影響を評価	ISO 14040 / 14044
GX-ETS 排出量等の確認	GX-ETSに基づき算定・報告される排出量等を第三者として確認	GX-ETS 排出量取引制度

●CFP (製品のカーボンフットプリント) やLCA (ライフサイクルアセスメント) とは？

◆CFP (製品のカーボンフットプリント) とは？: 製品の製造から廃棄に至るあらゆるプロセスで排出される環境負荷について、CO2換算値として算定し、客観的に確認できるように定量的に明示すること
◆LCA (ライフサイクルアセスメント) とは？: 製品の原材料調達から製造、輸送、使用、そして最終的な廃棄・リサイクルに至るあらゆるのプロセス (ゆりかごから墓場まで) で排出・消費される環境負荷について、地球温暖化 (CO2換算) だけでなく、水質汚染、酸性化、資源枯渇など、複数の環境影響分野にわたる負荷を総合的に算定・評価し、客観的に確認できるように定量的に明示すること

原料調達	製造	流通・販売	使用 維持管理	廃棄 リサイクル	該当プロセス合計
CO2	CO2	CO2	CO2	CO2	CO2

●第三者検証・妥当性確認前のポイント

データ収集
エネルギー使用量、燃料消費量、廃棄物量などのデータを収集する

排出係数の適用
各活動に対応する排出係数を適用し、排出量を算定する

合計排出量の算出
各活動の排出量を合計し、総排出量を算出する

●第三者検証・妥当性確認の4原則

完全性
全ての関連する排出源が網羅されているか？

一貫性
算定方法や報告基準が過年度や他拠点と整合しているか？

正確性
測定誤差や計算誤差が許容範囲内か？

透明性
算定方法や前提条件が説明・再現が可能か？

●第三者検証・妥当性確認のステップ全体像

計画
・対象スコープ・活動の確認
・使用係数・算定方法の整理

実施
・エビデンス (根拠資料、請求書、検針票など) の確認
・プロセス統制とデータ評価をインタビューや書類検証

報告・フィードバック
・整合性と根拠に基づく評価
・指摘事項とその改善提案

●第三者検証・妥当性確認までの標準的な流れ

第三者検証・妥当性確認までの期間は、お客様の準備状況、対象事業所数、検証基準等によって変動します。

お問い合わせ	お見積り提示 ご契約	検証計画の策定 書類検証	検証実施	(必要に応じて) 改善提案	検証報告書 の発行
弊社担当より、サービス概要、検証基準などをご案内いたします。	「検証基準」「対象事業所数」「対象製品プロセス」などをヒアリングし、お見積りをご提示します。 合意後、ご契約と検証スケジュールを調整します。	検証計画を作成します。事前に提出いただいた算定報告書等に基づき、排出量算定方法等の書類検証を実施します。 必要に応じてギャップ分析等の事前ミーティングを実施します。	事前に合意した検証基準に従って、検証または妥当性確認を実施します。現地検証とリモート検証を柔軟に組み合わせ、効率的に進めます。 検証・妥当性確認完了後、報告書を作成します。	原材料の選択、製造プロセスの改善、製品設計変更、輸送・廃棄方法など、環境影響を最小限に抑えるための具体的な改善提案を提供いたします。	社内レビューを経て、検証結果を保証する検証報告書を発行いたします。

●なぜインターテックが選ばれるのか？

信頼性と効率性を両立させる、インターテックの4つの強み。

1: グローバル対応力 世界各地のエキスパートが連携し、複雑なグローバルサプライチェーンを持つ組織の検証ニーズにもシームレスに対応します。

2: 本質追求のヒアリング 単なる形式的なチェックではなく、お客様の事業活動の本質に重きを置いたヒアリングを通じて、真に必要十分なサービスをご提案します。

3: 柔軟な対応と効率性 現地検証とリモート検証を組み合わせることで、お客様の状況に応じた柔軟かつ効率的な検証デリバリーを実現します。

4: 手厚いサポート体制 最新情報を提供するセミナーやウェビナーを適宜実施。検証後も環境への影響を最小限に抑えるための改善提案など、手厚くフォローいたします。

●準拠規格や制度、第三者保証の範囲

インターテックは、以下の例のように、幅広い国際規格および国内制度に準拠・対応しています。広範な第三者保証がポイントで、**GHG/CFP/LCAに留まらず、廃棄物、水などの環境データ、社会性データ、サステナビリティの取り組み(ESG情報) に関する第三者保証サービスも提供し、お客様の非財務情報開示を支援します。**

カテゴリ	準拠規格・制度 (例)	詳細
組織やプロジェクトのGHG（Scope1, 2, 3）	ISO 14064-1, -2, -3	GHG排出量の算定・報告、 排出削減・吸収量算定、妥当性確認・検証ルール
製品のCFP, LCA	・ISO 14067 ・ISO 14040, ISO 14044	CFPの定量化・報告、LCAの原則と要求事項
国際基準	GHGプロトコル	GHG算定、報告、開示を行う際の参照国際基準
国内制度 （GX-ETS）	排出量取引制度（GX-ETS）	登録確認機関として、制度に基づく排出量等の確認サービスを提供
国内制度 （東京都、埼玉県）	総量削減義務と排出量取引制度	登録検証機関として、対象事業所における温室効果ガスの基準排出量や年度排出量の検証サービスを提供

- インターテック・サーティフィーケーションは、あらゆる産業分野にわたる幅広い認証サービスを巨大な多国籍組織から小規模組織まで全世界で約30,000社のお客様に提供しています。
- みなさまのビジネスパートナーとして、企業価値向上に貢献できるような効果のある認証サービスの提供に努めております。お見積りのご用命、訪問説明などお気軽にお問い合わせください。

インターテック・サーティフィケーション株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13ヒューリック神谷町ビル4階
✉ info.ba-japan@intertek.com
又はhttps://ba.intertek-jpn.com/contact/contactform/
又は弊社担当営業まで